



鴨長明 没後八百年

俳優 伊藤哲哉が、「方丈記」原文をドラマチックに語りつくす!

平成28年
6月30日(木) 14:30 開演
(14:00 開場)

兵庫県立芸術文化センター阪急中ホール

全席指定
3,000円

チケット取り扱い
兵庫芸術文化センターチケットオフィス
0798-68-0255
10:00AM~5:00PM 月曜休み(祝日の場合翌日)

出演

伊藤哲哉(語り) ・塩高和之(楽琵琶)
水野俊介(五弦ウッドベース) ・ヒグマ春夫(映像)

解説・対談

服部祥子(精神科医、神戸市シルバーカレッジ学長、頤栄短期大学前学長)
小林一彦(古典文学研究者、京都産業大学 日本文化研究所長)

後援 西宮市・(公財)西宮市文化振興財団・神戸新聞社
主催/YUKIプロデュース・問合せ/YUKIプロデュース045-962-1549
ホームページ <http://www.k-kikaku1996.com/work/yuki/houjyoki/houjyoki.html>

現代によみがえる鴨長明の言葉
楽琵琶の秘曲演奏とともに

「方丈記」

琵琶の秘曲でつづる平成絵巻

阪神・淡路大震災、東日本大震災と大きな災害にみまわれ、激動の時代に生きる今、これからの暮らし方、心の在り方を、日本最古の災害文学であり、第一級の自分史でもある「方丈記」に学ぶ。

時を超え、いまよみがえる 鴨長明の言葉

—本当の豊かさとは？古典に学ぶ生きる知恵—

2000年に設立したYUKIプロデュースでは、「山本周五郎」「宮沢賢治」「チェーホフ」等の心の機微に触れる良質な作品を舞台化し上演。東京・横浜を中心に、エジンバラ演劇祭参加のほかボストン、オックスフォードなど海外でも公演して来ました。今年には作者鴨長明没後八百年にあたります。混迷の現代に求められる価値観とは豊かさばかりでは無いはず。歴史を経て読み継がれて来た「方丈記」から、今に通じる生きる知恵に耳を傾けてみませんか。俳優の深い声の語り、古典の日本語の美しさ、鴨長明の名文、人生観をお届けいたします。出演者は、国内活動はもとより、日本の文化を世界に発信しているベテランの方々です。この度の関西公演では、服部祥子先生と小林一彦先生をお迎えし、テーマ「聴きどころ 時代背景等」を、わかりやすく解説していただきます。八百年の時を超え、語り 音楽 映像 のコラボレーションで、劇場空間ならではのダイナミックな平成絵巻「方丈記」をお楽しみ下さい。

YUKIプロデュース 吉岡孝子（神戸市出身）

【対談】

服部祥子 精神科医、神戸市シルバーカレッジ学長、大阪人間科学大学名誉教授、頤栄短期大学前学長。岡山大学医学部卒業。大阪府、神戸市の医療保健福祉大学教育に従事。児童思春期を専門とする精神科医として長年臨床に携わる。『子供が育つみちすじ』『精神科医の子育て論』（新潮社）等著書多数。近年自身の老いも含めて老年期にまなざしを注ぎ、『あこがれの老い』（医学書院）を著す。また、阪神淡路大震災に関わった経験から『阪神淡路大震災と子供の心身』（編著、名古屋大学出版界）を出版した。

小林一彦 古典文学研究者、京都産業大学 日本文化研究所長 慶応義塾大学文学部卒、同大学院博士課程単位取得。専門は和歌文学・中世文学。方丈記成立800年にあたる2012年、NHKのEテレ「100分de名著 方丈記」（10月放映4回シリーズ）を解説。『方丈記』（NHK出版）『鴨長明と寂蓮』（笠間書院）等著書多数。メディア出演や講演を通じ、古典をわかりやすく読み解く活動にも力を入れる。中日新聞東京新聞北陸中日新聞に「王朝の歌人たち」を毎週1回連載中。

【出演者紹介】

伊藤哲哉 俳優
ブログ「耳ざわり通信」 <http://biwamimi.exblog.jp>
昨年は日本国憲法、方丈記、小泉八雲、モーム、安房直子を朗読。
【舞台】星々の軌跡（'15）、Lafesta（'15）、良寛（'15）、こまつ座、
銀河英雄伝説シリーズ、蛸川幸雄演出作品、YUKIの会 他
【映画】黒澤明、伊丹十三、森崎東、小泉堯史、崔洋一 他
【一人芝居】ガリバー・ウエハース、煙草の害について、白鳥の歌、
おたる遊幻夜会（遠き橋懸り、直面）
【語り琵琶】耳なし芳一、桜の森の満開の下、かえるの平家ものがたり
【TVラジオナレーション・朗読】多数出演。

塩高和之 琵琶・作曲
文化としての琵琶楽を標榜し、古典曲から現代曲まで作曲・演奏の両面に於いて国内外で活動。国内では高野山、巖島神社、赤間神宮など琵琶に縁の深い地にて積極的に独演会を開き、海外ではシルクロードの国々（トルクメニスタン・ウズベキスタン・アゼルバイジャン・ジョージア）でのコンサートツアーの他、ロンドンシティ大学、ストックホルム大学などでも演奏。国内の大学、美術館などでも特別講座を数多く担当している。現在薩摩琵琶、楽琵琶両方でCDの発表、演奏活動を展開する唯一の存在である。また様々な琵琶楽を紹介するべく琵琶楽人倶楽部を設立し、これまで100回以上に渡るレクチャーコンサートを行っている。現在までに8枚のCDとDVDを発表している。各CDとDVDはFEELレコードを通じ世界にネット配信されている。静岡県出身。琵琶楽人倶楽部、日本橋楽芸会代表会主。塩高和之のオフィシャルサイト <http://biwa-shiotaka.com/>

水野俊介 五弦ウッドベース・作曲
西宮市出身。札幌時代からのスカイドッグブルースバンドによりメジャーレコードよりデビュー。'80年よりボストンのパークリー音楽院に留学、本格的にジャズを学ぶ。'95年に「OCMLレコード」を設立し、現在までに11枚のCDをリリース。'05年にドイツのOzella MusicよりCDがリリースされ、ヨーロッパを中心に展開される。'08年ベルリン国際映画祭でのノミネート作品で楽曲が採用。'11年、'14年ドイツ ハノーファーでの現代美術展にてソロ演奏等を行い、好評を得る。作曲や演奏、CD作成の他に、演劇・美術映像とのコラボレーション等幅広い活動を行い、独自の世界観を持つ音楽を追求している。
OCMLレコード <http://www.iris.dti.ne.jp/~mizunos/>

ヒグマ春夫 映像作家
映像が介在する表現に固執し「ヒグマ春夫の映像パラダイムシフト」を継続中。他に年に一度のコラボレーション企画「ACKid」、「連鎖する日常／あるいは非日常展」がある。'90年度文化庁派遣芸術家在外研修員ニューヨーク。その成果発表を'08年「DOMANI 明日」展・国立新美術館。'02年「第5回岡本太郎記念芸術大賞」展・優秀賞。'04年「水の記憶・ヒグマ春夫の映像試論」川崎市岡本太郎美術館。'06年、'09年大地の芸術祭「越後妻有アートトリエンナーレ」。
<http://higuma.v333.ch>

照明 早川誠司

舞台監督 菊地 廣

制作 吉岡孝子

手打ちそば
心々庵
美面市桜5丁目1-8
（阪急落着駅西口南100m）TEL072-723-5272

兵庫県立芸術文化センター
阪急中ホール